

91

九州界黙

7月号——通巻802号



第3回東京九州会 巻頭グラビア

「九州は一つ」の 意気高らか

この熱気
郷里へ 6

北九州

鹿児島

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

学術研究都市構想

128

DATA 平成二年法人所得ランキング100社…
地場主要企業の91年3月期決算…

55 138

市役所がまさに「企業人事係」に

38

佐賀正副議長独占(2年ぶり)の自民リードで

132

韓国経済と九州④ 対米貿易不均衡是正九州でも

118

二極分化が進む九州石油業界 久留米

41

変革期迎えた2大シューズメーカー(月星アサヒ)

48

崩れぬ!!「地価税」は物価を上げる
土地神話

34

怪獣トイザラス九州上陸いよ秒読み

120

生き残り賭け再編加速

28

長崎のべつ甲業界悲痛の叫び

24

三正・満井忠男社長に疑心暗鬼

20

十八銀行の大株主・長崎プリンスホテルの所有者

7月号目次

社、同様に三星ジャパン、鮮京ジャパン等の福岡支社がある。最近では「大宇」の福岡市進出が伝えられている。韓国商品も含めてNIES専門店が、福岡市に五店、北九州市に一店、直方市に一店、鳥栖市一店、熊本市一店、計九店も出されている。

韓国総領事館・韓国貿易センター(KOTRA)、韓国観光公社なども福岡支社が設けられ、九州市民と韓国との結びつきは、アジア諸国のなかではもつとも交流は深い。韓国とのみの交流ではないが昨年は、北九州市で開催された「九州国際テクノ・ビジネスフォーラム」や「九州アジアテクフェア」など意義あるイベントも行われている。福岡商工会議所と釜山商工会議所との交流、また本年福岡にて開かれた第五回日・韓商工会議所会頭会議なども注目されよう。そのほか、韓国のみを対象としたものではないが、北九州市の

「朝北九州国際研修協会」(KITA)、国際協力事業団(JICA)の研修施設「九州国際センター」などにも、数はすくないが韓国の研修員を受け入れている。

自治体のなかで、韓国との交流を積極的に推進しているのは北九州市である。「ハングル講座」開催、「第四回韓国国際観光振興展」参加、「韓国観光セミナー」開催、「国際化モデル事業調査東アジア調査団派遣」(韓国)「北九州港・下関港韓国訪問団派遣」(北九州市議会訪韓(仁川)代表団派遣)などである。いずれも八九年中におこなわれたものである。

「黄海経済圏」 「釜関広域経済圏」 構想と九州

一九八八年一月、中華人民共和国は、「沿海地域の経済発展戦略」を決定した。この沿海地域とは北は遼東半島から山東半島を経て南は海南島に至る総面積三二

万平方、人口一億六千万の地域である。この地域を「両頭在外」(自主権を与えること)として「大進出」(大いに輸入し、大いに輸出する)の加工型工業をおこし、国際経済の流れに参入せしめようとの計画が、それである。この中国の決定に、

韓国・盧大統領はすぐ呼応し、二月に中国の沿海地域経済発展戦略に対応して「韓国西海岸経済構想」を提起し、対中交流の拠点づくりを発表した。盧大統領は、先の大統領選挙で噴出した地域的対立感情の解消のため、金羅南北道を中心とした西海岸開発を促進しようとの表明である。また韓国は、もはやアメリカが主要な輸出市場たりえぬことを踏まえ、たうえでの中国市場へのアプローチでもある。

中国、韓国ともに、両国の国交樹立までは、民間貿易協定、覚書貿易などを積みあげていくとの方針である。大宇が先陣をきって合弁企業第一号として中国にでて

いる。両国の共通利益があり、「黄海経済圏」の建設は進みであろう。

昨年五月韓国政府は、韓国南部地域と九州・山口地域を結ぶ「釜関広域経済圏協同開発計画」構想を発表した。具体的には(1)下関―釜山間海底トンネル建設、(2)長崎―済州島―沖縄を結ぶ海上観光都市建設、(3)済州島に国際的な域外金融市場(オフショア市場)建設などを提起した。「黄海経済圏」であれ、「釜関経済圏」構想であれ、中国・韓国の構想提起である。中・韓・日が協力して協同事業を進めることは二十一世紀の課題である。九州はこの課題にいかにかたえるか、真剣な取組みを望みたい。

(編集委員・赤塚信一郎)

